

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	武雄市立山内東小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終評価にむけて数値目標を向上させることができたが、常に数値目標以上となるよう目指していきたい。</li> <li>「授業づくり1・2・3 vol.1 &amp; 2」を活用した授業実践、ICTを活用した効果的な実践を行い、基礎学力の指導の徹底を図ってきたい。</li> <li>業務の効率化が進んできたので、今後も児童と向き合う時間を確保し、児童に寄り添った対応を継続していくために「教育相談の日」を設け、いじめ問題等の早期発見、早期対応に努めていきたい。</li> </ul>
------------------	---

2 学校教育目標	ひるまず がんばる しき(志気)の高い児童の育成 ~地域と共にある学校づくりを通して~
----------	---

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「あいさつ日本一」を目指すなど、目標に向かって努力する志の高い子どもを育成する。</li> <li>②基礎基本を身につけさせる指導の徹底、ICTを利活用した効果的な実践、客観テストや調査結果をもとにした指導改善などを共有し、日々の授業改善につなげる。</li> </ul>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有する。「授業づくり1・2・3 vol.1 & 2」を活用した授業実践を日々行い、月末に振り返りシートを提出し、見直しを図る。							
	○基本的な学習習慣の定着と学習内容の確実な定着	○教師アンケートで「自分の考えを書き表す活動を各教科に取り入れた」の割合を85%以上にする。 ○児童アンケートで「家庭学習を学年の目標時間以上おこなった」の割合を85%以上にする。	・授業の中で、自分の考えを書いたり、説明したりする活動をしくみ、児童の考えを交流させる。 ・「家庭学習時間」の調査を定期的実施し、家庭学習に対する児童や保護者の意識を高める。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケートに関する項目「相手がいやがることをしない、いわない」で肯定的な回答をした児童80%以上にする。	・人権集会を実施(人権標語に取り組み)し、学級での振り返り指導を実施する。 ・授業参観で、年1回「ふれあい道徳」を実施し、地域や保護者に公開する。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員を80%以上にする。 ○アンケートで「学校が楽しい」と回答する児童80%を達成する。	・生活アンケートを行い、いじめや生徒指導上の問題の早期発見、早期対応に努める。いじめを認知した場合は、すぐに校長をトップとしたいじめ対策委員会を開き、組織で対応策を考え、児童に寄り添った対応を図る。 ・「学校が楽しくない」と答える児童がいた場合は、しっかり寄り添い、少しでも楽しく感じられるよう教育相談を充実させ							
	◎自ら夢や目標の実現に向け努力する気持ちが高める教育の推進	◎「自ら夢や目標の実現に向け努力する気持ちがある」とアンケートで答える児童80%以上にする。	・志を高く、学校全体で「あいさつ日本一」を掲げ、学年に応じた日本一のあいさつを意識させ、あいさつのよさに気づかせる。 ・高齢者体験、手話体験、車椅子体験等、体験活動を通して、将来の職業や生き方に対する見方、考え方を学ばせる機会を設定する。							
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切」であるとする児童生徒80%以上 ○児童・保護者アンケートにおいて「早寝・早起き・朝ご飯」実施率を90%以上にする。	・生活状況調査や食に関する意識調査などを実施する。 ・保健便りやアンケートを通して、朝食をとることの大切さの理解と啓発を行う。							
	○安全に関する資質・能力の育成	○防災教育を推進し、教師・児童のアンケートで「防災に対する意識が高まった」と回答する児童80%以上にする。	・防災危機管理課、国土交通省河川事務所などを活用し、体験学習や避難訓練、職員研修を実施する。 ・社会科「安全なくらしを守る」「自然災害から人々を守る」などを活用し、地域の方をゲストティーチャーに招く。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日(金曜)を設定し、メリハリのある勤務形態とする。 ・教育的効果と負担度を照らし合わせ、業務の見直しや効率化を図る。							
	○行事・会議の効率化	○行事や会議の効率化を図り、児童と向き合う時間を確保する。 ○教師のアンケートで「行事や会議の効率化により効果的な教育活動につながった」職員を80%以上にする。	・仕事の効率化に向けた取り組みについて、「校内働き方改革委員会」を設け、全職員の意識向上を図る。 ・職員会議を2か月分一緒に提案するなど、会議の効率化を図る。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○健康・体づくりの充実	○継続的に運動に慣れ親しむ・健康に対する意識の向上	・「スポーツチャレンジ」に1種目以上取り組む学級を100%にする。 ・保健便り等を通して、う歯治療率を50%以上にする。	・「スポーツチャレンジ」強化月間を設け、結果を定期的に公表し、掲示する。 ・歯科校医と連携しブラッシング指導を行い、虫歯に対する意識を高める。							
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上と一人ひとりの児童のニーズに応える教育の推進	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	・「気になる子」に関する情報交換の場を週1回設け、共通理解を図る。 ・ケース会議や職員研修の場を設け、合理的配慮に基づいた指導、インクルーシブ教育の視点に立った環境を整える。							

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</li> </ul>
----------------	--